

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 ピクセルカンパニーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2743 URL http://pixel-cz.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山元 俊 TEL 03-6731-3410
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,086	9.4	△165	-	△182	-	△275	-
2019年12月期第3四半期	1,906	65.1	9	-	△6	-	8	-

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △273百万円 (-%) 2019年12月期第3四半期 12百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△10.68	-
2019年12月期第3四半期	0.38	0.38

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期第3四半期 -百万円 (-%) 2019年12月期第3四半期 -百万円 (-%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	2,819	1,720	59.8	61.08
2019年12月期	2,476	1,617	64.7	62.88

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,685百万円 2019年12月期 1,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

現時点では業績に与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	27,586,600株	2019年12月期	25,486,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	72株	2019年12月期	-株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	25,816,162株	2019年12月期3Q	22,822,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞等により景気は依然として厳しい状況で推移しました。足元では、感染拡大の防止策を講じつつ、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きがみられながらも、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、直面する問題である新型コロナウイルス感染症拡大の防止への対策と、安全衛生管理の徹底や健康への配慮を最優先に、経営基盤強化、管理機能の業務効率化に努め、刻々と変化する状況に迅速かつ適切に対応してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については、ディベロップメント事業において緊急事態宣言による営業活動への影響は大きく、同宣言の解除以降も案件の仕入が不安定であることや、システムイノベーション事業においては、取引先の営業調整や、新型コロナウイルス感染症による受注先における出社制限やテレワーク導入等からインハウス型の受託案件に引き続き影響がでております。また、エンターテインメント事業においては、依然としてカジノ施設が所在する地域への渡航が困難であることにより、販売活動に多大なる影響を及ぼしております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,086百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業損失は165百万円（前年同四半期は営業利益9百万円）、経常損失は182百万円（前年同四半期は経常損失6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は275百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(ディベロップメント事業)

ディベロップメント事業は、太陽光発電施設を法人及び個人投資家向けに企画・販売・取次をすることに加え、リゾート用地の開発や不動産の売買、仲介の事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動に多大な影響を及ぼしたものの、前連結会計年度にて期ずれした太陽光発電施設案件の引渡しが完了したことに加え、不動産物件の売買が行われ、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は1,531百万円（前年同四半期比64.1%増）、営業利益は133百万円（前年同四半期比は営業利益108.2%増）となりました。

(システムイノベーション事業)

システムイノベーション事業は、金融機関向けシステム開発・IT業務の技術支援サービス及びブロックチェーン技術等の最先端技術を用いたシステムの開発・受託事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、取引先の営業調整や、新型コロナウイルス感染症拡大による受注先における出社制限及びテレワーク導入等からインハウス型の受託案件に影響がでており、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。また、売上高の減少に加え、原価の先行計上等により営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は443百万円（前年同四半期比34.5%減）、営業損失は6百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

(エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業は、カジノゲーミングマシンの企画・開発・製造・販売、ゲーミングアプリケーションシステムの企画・開発・販売及びe-sports関連のコンサルティング、IR事業への参画を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、ゲーミングアプリケーションの開発・引渡しがあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大による、渡航制限やカジノ施設の休業等から営業活動が停止していることや、IR事業関連の経費先行計上等により、前年同四半期に比べ売上高、営業利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は63百万円（前年同四半期比76.5%減）、営業損失89百万円（前年同四半期は営業利益105百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、その他の事業における売上高は47百万円（前年同四半期比84.6%増）、営業利益は3百万円（前年同四半期比は営業利益91.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、手元現金及び売掛金等が減少したものの、仕掛品及び前渡金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ342百万円増加し、2,819百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前受金及び未払金等が減少したものの、短期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ240百万円増加し、1,098百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、資本金及び資本剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、1,720百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、業績に与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,687	200,372
売掛金	301,080	169,382
製品	74,325	74,325
仕掛品	620,240	723,368
前渡金	689,312	1,379,810
その他	77,774	228,339
貸倒引当金	△42,132	△74,417
流動資産合計	2,351,289	2,701,181
固定資産		
有形固定資産	32,398	31,003
無形固定資産		
のれん	19,257	10,119
その他	6,993	9,412
無形固定資産合計	26,250	19,532
投資その他の資産		
投資有価証券	3,000	2,000
長期貸付金	468,809	408,409
長期未収入金	220,000	279,500
その他	51,083	54,039
貸倒引当金	△676,270	△676,270
投資その他の資産合計	66,622	67,679
固定資産合計	125,271	118,215
資産合計	2,476,561	2,819,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,799	49,034
短期借入金	10,000	792,799
1年内返済予定の長期借入金	18,000	11,500
未払金	124,983	100,149
未払費用	43,213	35,705
未払法人税等	14,207	8,705
前受金	550,603	72,413
関係会社整理損失引当金	—	8,206
その他	15,795	14,842
流動負債合計	839,602	1,093,357
固定負債		
長期借入金	7,000	—
その他	12,125	5,545
固定負債合計	19,125	5,545
負債合計	858,727	1,098,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,777,832	2,956,332
資本剰余金	2,982,543	3,161,043
利益剰余金	△4,205,403	△4,481,752
自己株式	—	△15
株主資本合計	1,554,973	1,635,607
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	47,604	49,503
その他の包括利益累計額合計	47,604	49,503
新株予約権	15,256	35,383
純資産合計	1,617,833	1,720,494
負債純資産合計	2,476,561	2,819,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,906,890	2,086,082
売上原価	1,365,902	1,474,985
売上総利益	540,987	611,096
販売費及び一般管理費	531,131	777,090
営業利益又は営業損失(△)	9,856	△165,993
営業外収益		
受取利息	1,014	19
受取家賃	1,895	3,222
仮想通貨売却益	2,029	1,699
キャッシュレス還元額	—	687
その他	1,602	499
営業外収益合計	6,541	6,127
営業外費用		
支払利息	8,929	13,351
為替差損	5,078	822
新株発行費	6,735	5,141
その他	2,222	3,007
営業外費用合計	22,966	22,323
経常損失(△)	△6,568	△182,188
特別利益		
債務免除益	7,312	—
補助金収入	—	6,000
新株予約権戻入益	28,548	15,256
固定資産売却益	—	3,621
その他	1,314	—
特別利益合計	37,175	24,877
特別損失		
賃貸借契約解約損	4,207	—
貸倒損失	—	71,932
関係会社整理損失引当金繰入額	—	8,206
和解損失	7,078	—
貸倒引当金繰入額	—	32,400
その他	—	1,013
特別損失合計	11,285	113,552
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,320	△270,863
法人税、住民税及び事業税	10,671	4,905
過年度法人税等	△68	—
法人税等合計	10,602	4,905
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,718	△275,769
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,718	△275,769

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,718	△275,769
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,676	1,899
その他の包括利益合計	3,676	1,899
四半期包括利益	12,395	△273,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,395	△273,870

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第三者割当による新株式の発行 (第三者割当増資)

2020年7月30日開催の当社取締役会において、TTLリゾート株式会社に対する第三者割当による新株式の発行を決議し、2020年8月19日付で払込が完了しております。

これにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ178,500千円増加しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディベロ ップメント事 業	システムイ ノベーション 事業	エンターテ インメント 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	933,733	676,856	270,833	1,881,423	25,467	1,906,890	-	1,906,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	933,733	676,856	270,833	1,881,423	25,467	1,906,890	-	1,906,890
セグメント利益	64,213	3,054	105,050	172,318	1,779	174,098	△164,241	9,856

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△164,241千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディベロ ップメント事 業	システムイ ノベーション 事業	エンターテ インメント 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,531,939	443,493	63,636	2,039,069	47,012	2,086,082	-	2,086,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,531,939	443,493	63,636	2,039,069	47,012	2,086,082	-	2,086,082
セグメント利益 又は損失(△)	133,706	△6,876	△89,071	37,759	3,404	41,163	△207,156	△165,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△207,156千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。